



和歌山大学附属図書館メールマガジン

第 14 号

平成 21 年 3 月 10 日

図書館からのお知らせ

春季休業期間中の長期貸出について

- ・適用期間は、下記の日程となります。

【学生用図書】

平成 21 年 3 月 6 日（金）～4 月 1 日（水）

【学生用以外の図書】

平成 21 年 2 月 14 日（土）～3 月 16 日（月）

- ・返却期限日

平成 21 年 4 月 15 日（水）

- ・対象利用者

学部学生、大学院生、専攻科学生

卒業・修了予定の皆様へ

返却日は、平成 21 年 3 月 16 日（月）までです。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP アドレスは <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>

卒業・修了予定の皆様へ

返却し忘れていた本はありませんか？

卒業・修了される皆様には、貸出された図書についても一度確認していただき、未返却のままにならないようお願いします。

図書は大学にとって勉学の糧となる貴重な財産であり、後輩たちに継承していくべきもので、欠本になると教育・研究に支障が生じる場合もあります。

よろしくをお願いします。



新着図書情報

新着図書の情報を知りたいときは、図書館のホームページから「資料案内」をクリックし、「新着資料リスト」をクリックしてください。最近3ヶ月の間に図書館に入った図書を分野別に表示しています。

HPアドレスは、 <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/> です。



Webcat を活用しよう！！

Webcat は、全国の大学図書館等で所蔵している図書および雑誌が検索できる学術書を調べるための基本ツールです。利用するには、図書館のホームページから「蔵書検索」をクリックし、「NACSIS Webcat」をクリックしてください。本学の蔵書に欲しい図書が見つからない時に便利です。

HP アドレスは、<http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/> です。

「蔵書検索」をクリックします。

「NACSIS Webcat」をクリックします。

【Webcat】

該当項目の検索語を入力します。
「検索開始」をクリック

一覧表示の中から、見たい資料をクリックします。

上段：書誌詳細が表示されます。
下段：所蔵館名、請求記号、図書番号の一覧が表示されます。
雑誌の場合は、所蔵年、巻号が表示されます。

『バウハウスと戦後ドイツ芸術大学改革』を公刊して

拙著『バウハウスと戦後ドイツ芸術大学改革』(342頁)を今年2001年1月に風間書房より公刊しました。神戸大学の鈴木幹雄氏との共同編著によるもので、底本は、彼との連続二回にわたる科研費共同研究(2002~04と2005~07年度)の二冊の報告書です。この共同研究には準備期間が要りましたし、また昨年8月に大阪で開催された第32回国際美術教育学会(International Society for Education through Art)において、今回の拙著とほぼ同様の主題で研究発表し、その際に得た貴重な知見を本書の編集・校正に反映させています。よって本書は8年間におよぶ研究の成果の集大成です。



さて「バウハウス」とは、「黄金の1920年代」と言われる時代のドイツの文化、すなわち「ワイマール文化」を代表する革新的な芸術学校の固有名のことです。原語で Bauhaus と書き、直訳すれば「建築の家」であるように、この学校では建築を中心に絵画・

彫刻・家具・陶器・照明・織物・印刷・舞台・写真・等々、生活に関わる造形物すべてを機能性と芸術性との両面から研究教育しました。だからバウハウスの課題は芸術と産業、芸術と技術との統合であり、その人材の育成でした。だから教師は芸術家と技術家との二種類でした。学生は両方から同時に教えられたのです。この二重教師制から優れた人材が多数輩出しました。例えば、後にバウハウスの教師になったM・ブロイヤーですが、彼はスチールパイプを素材とした軽くて美しく量産可能なパイプ椅子や机を、まさに創造的に設計し、それは今日いたるところで使われています。

しかし、このようなバウハウスは、当時としては非常に革新的で国際的であったため常に右翼から攻撃され、1933年1月に政権を獲得したナチスによって同年8月に強制閉校させられてしまいました。創立の1919年4月よりわずか14年余りでした。しかし、この時期にドイツのみならず世界中に及ぼしたバウハウスの影響は計り知れません。

そのため、1945年にナチス政権が崩壊すると、ドイツ各地で文化の再生を期して芸術学校改革が行なわれ、その際にしばしばバウハウスが改革モデルにされたのです。バウハウス神話が作られ、「バウハウスは世界中の美術教育を変えてしまった」と評され、これは関係者の通念になりました。ところが、その変革が何年に、何処で、誰により、どの程度行なわれたのか、その実態、実像は不明なままでした。さすがドイツではバウハウスの影響史について研究がなされていますが、しかしそれは未だ概観的と言えるものです。

そこで、今回の拙著でわれわれは、この点を、現地ドイツでの6年に及ぶ一次的資料の調査に基づき緻密に実証的に解明しました。例えば筆者は、戦後早期におけるベルリン芸術大学の、バウハウスをモデルとした改革過程を個別の芸術家を幾人が登場させつつ明らかにしました。ヒストリーを詳しく語ったのです。だから、こうした成果は十分に世に問えるものであり、研究史に確実に残る業績だと考えています。

なお、4年前の2005年に単著の『ミューズ教育思想史の研究』(842頁)を同じ風間書房より公刊しています。これについては、和歌山大学附属図書館ホームページのメールマガジンのページに掲載の第4号(2006.7.7)をご覧ください。

(教育学部教授 長谷川哲哉)

展 示

「日常にあふれるモノたち」写真集

開催：平成20年12月8日(月)～平成20年12月15日(月)

内容：普段あまり気にしない身の回りから、たくさんの綺麗なモノ、変わったモノ、感動できるモノに改めて気づき、意識してもらおうというのが本企画の狙いです。



「留学生のお国紹介」写真集

開催：平成20年12月19日(金)～平成21年1月16日(金)

内容：「にほんのことば、にほんのぶんか 2」の授業を通じて留学生が自国と日本との違いなどについて感じたこと考えたことを基にして、自国の文化、景色、習慣などを紹介しました。

職場体験学習受入

受入日：平成20年11月25日(火)～11月26日(水)2日間

対象者：和歌山大学教育学部附属特別支援学校高等部2年生女子1名

業 務：書庫内図書のバーコードラベル貼付及びカウンター業務など

/編集後記//-----

図書館では、皆様とのコミュニケーションを図っていきたいと思っております。どんな些細なことでも結構ですのでご質問、お問合せ、ご感想等を下記アドレスまでお寄せください。良き交流の場にしていきたいと願っておりますので、よろしくお願いいたします。(スタッフ一同)

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7903

FAX：073-457-7900

e-mail：lib-mag@center.wakayama-u.ac.jp


